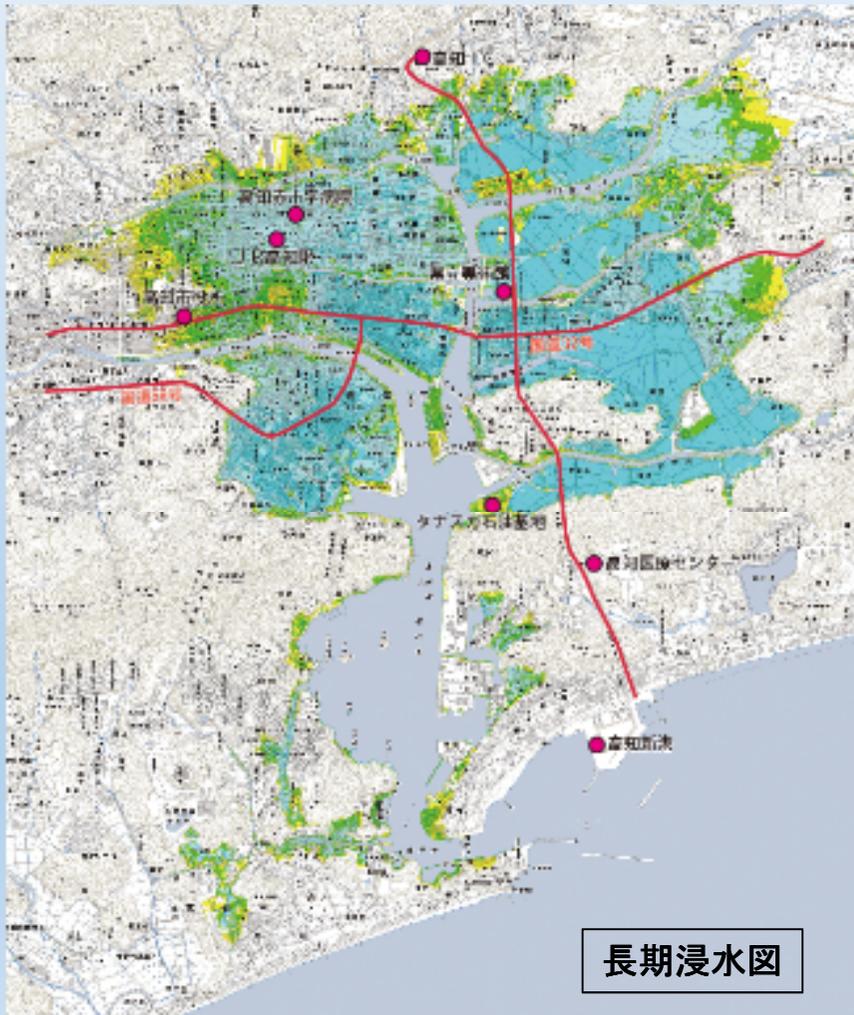


# 高知市の災害時医療救護体制の目指す姿

## 1 南海トラフ地震発災時の高知市の状況(L1)

- ・震度5強～7の揺れ，津波による被害と1ヶ月以上に渡る長期浸水
- ・ライフライン，道路網，通信網の寸断による孤立化。医薬品・医療資源の不足……多数の傷病者への対応



・人口：350,426人(H17国勢調査)

### 「L1 発生頻度の高い一定程度の地震・津波」

現状：死者 3,500人 負傷者 5,500人(重傷者：3,000人)

対策後：死者 90人 負傷者 670人(重傷者：380人)

### 「L2 最大クラスの地震・津波」

現状：死者 12,000人 負傷者 12,000人(重傷者：6,700人)

対策後：死者 860人 負傷者 3,000人(重傷者：1,700人)

#### ① 現状

- ・避難開始のタイミングが，10分後に避難開始が20%，20分後に50%，津波が到達してからが30%
- ・平成25年3月時点の津波避難タワー及び津波避難ビルを考慮
- ・住宅の耐震化率は74%

#### ② 対策後

- ・避難開始のタイミングは，10分後に避難開始が100%
- ・整備予定の避難路，避難場所及び津波避難タワーの整備が完了(整備率100%)
- ・住宅の耐震化率は100%

【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定(平成25年5月)



### 3 医療救護体制の構築に向けた取り組み

#### (1) 救護病院を核とした医療救護体制の整備

##### 【取り組み】

- ・市医師会の地区割と救急告示等の医療機能を考慮して救護病院を20病院を指定。資機材及び衛星携帯電話・MCA無線等の情報伝達機器を配備
- ・災害時公衆衛生活動マニュアルを策定。市医療対策本部と救護病院との円滑な連携に対応できる体制を整備
- ・救護病院を中心とした医療機関が参加する地域連絡会を開催し、地域連携の輪を強化

##### 【課題】

- ・すべての地域で救護病院を中心とした活動を記した市災害時医療救護計画の周知が必要
- ・救護病院のBCP策定支援(救護病院のBCP策定率14.3%)

#### (2) 長期浸水時における医療体制の検討

##### 【取り組み】

- ・長期浸水被害に関する説明会の開催(H28.12.22)
- ・浸水域内の病院を対象とした調査
- ・患者救出・搬送方法を消防等の関係機関と検討

##### 【課題】

- ・ろう城する場合の備蓄(医薬品・食料等)
- ・何日ろう城が必要なのか? 救出・避難までのロードマップの策定

#### (3) 医薬品の供給体制の確保

##### 【取り組み】

- ・災害拠点病院等に備蓄した医薬品が不足した場合に備え、県と共に県薬剤師会高知市支部との協力体制について協議
- ・県薬剤師会高知市支部と災害時の医療救護活動及び医薬品等の供給に関する協定を締結
- ・災害薬事コーディネータを任命

##### 【課題】

- ・災害拠点病院以外の備蓄
- ・医薬品の集積場所並びにそれらの仕分け、搬送手段の確保

#### (4) 災害医療に関する訓練・研修会

##### 【取り組み】

- ・災害対応能力の向上と地域医療機関の連携を目的とする市医師会の災害医療地域連絡会に対する補助及び支援
- ・救護病院との情報伝達訓練を毎月実施
- ・高知市総合防災訓練・救護病院における災害医療救護訓練の実施
- ・県主催の情報伝達訓練等の機会を利用した災害時公衆衛生活動マニュアルの検証

##### 【課題】

- ・救護病院以外の医療機関・薬局・住民に対する訓練・研修の実施
- ・地域の連携強化を目的とする研修・訓練

## 4 地域の実態に応じた取り組み（例：いずみの病院周辺地域）

H28.11.20 救護病院のいずみの病院を中心として  
近隣医療機関、薬局、地域住民（自主防災組織）の協働による訓練を実施

	施設数(病床)
救護病院	2(238床+146床)
病院	2(101床+235床)
有床診療所	2(19床+19床)
診療所	3
歯科診療所	4
薬局	5

- ・救護病院では、災害対策マニュアルに基づいた体制整備
- ・近隣医療機関から救護病院へ医療従事者の派遣
- ・医師会連絡調整員による情報収集活動
- ・歯科医師会安否確認システムによる、地域内の歯科診療所の被災状況の情報収集
- ・薬剤師会を通じて、調剤薬局から支援薬剤師の派遣
- ・負傷者の搬送は地域住民（自主防災組織）
- ・L1の浸水状況を考慮した後方搬送の実施



救護病院を中心として  
各機関で何ができるのかを事前に把握



地域ごとの行動計画の策定



救護病院を中心とした場合、地域ごとに異なる特徴を有している。  
それぞれの地域で総力を結集した訓練を行い、役割の確認、地域が持つ課題を明確にすることが重要！